

茨木市立福井小学校 平成29年(2017年)6月14日



# 福井だより

1～5年生向け

校長 吉田 明弘

## かたまるや 散るや蛍の 川の上

夏目 漱石

佐保川に蛍が舞う季節になりました。(ホタルやそのえさのカワニナが生息する河川は、環境省による指標生物による水質階級でいうと、4階級中の上から2番目です。サワガニが生息する河川は1番目なので、ホタルやカワニナ、サワガニが生息する福井地区を流れる佐保川の水質はとてもきれいということになります。)

梅雨を迎えました。このところ、好天が続いていますが、休み時間に外で元気よく遊ぶことができない日が増えてきそうです。学校は、6月の生活目標を「雨の日の生活をかんがえよう」として、けがなく安全に教室で過ごすように子どもたち自身に考えさせています。教室や廊下を走って、けがなくすることがないように!

### 日曜参観・引き渡し訓練

11日(日)の日曜参観・引き渡し訓練にご来校いただきありがとうございます。教室での子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。ご心配なことなどありましたら、お知らせください。

次の参観は9月の水泳参観です。次回もぜひご来校ください。

### 授業アンケートにご協力ください

今年度も昨年度と同様に実施いたします。このアンケートは、大阪府内の府立高校、支援学校、公立小中学校で、教員の一層の授業力向上を目的に実施されます。

4月の参観や日曜参観、子どもたちからお聞きいただいている日々の授業のようすをもとにご回答ください。アンケート用紙等は後日配布させていただきます。ご協力をお願いします。

### 各種検診がまもなく終了します

学校保健安全法で定められた各種健診が間もなく終了します。治療勧告を順次お渡ししているところです。医療機関での受診をお願いいたします。

なお、受診結果の報告書につきましては、医療機関によっては文書料を請求される場合があることをご承知ください。(文書料の請求については、保健医療外行為であることから医師の自由とされています。)

### ヒロシマから学んだこと 6年生の作文

ヒロシマと私

六年

ヒロシマに行った。戦争でつぶされた男の子の人生、戦争によって今も苦しみ続ける人たちなど、いろいろな人々がいた。私は、戦争は絶対にしてはいけないことだと思った。だけど、戦争はしてはいけないとか、平和は大切だとかよりもっと大切なことは、「今、自分が人の生き方をこわしてはいけないか」ということだと思つた。人の悪口などは、絶対に言うてはいけない。人はどうしようも、自分はその生き方があるから、じゃまはしてはいけないと思つた。平和をつくるために今できることは、まず自分の生き方を大切にすることだと思つた。

平和について

六年

広島でおじいちゃんに会った。インタビューすると、この方は被爆者だった。小学2年生の時に、親をなくしたそうだ。その方が「日本は負けて良かった」と言っていた。そうでないと、今ごろ勝った日本はもっと強くなり、戦争をたくさんしていたら。十四万人以上の人が亡くなったからこそ、二度と戦争を起こしてはならないと誓った。それを聞いて、その人は強いと思つた。すごく悲しくて憎いはずなのに、その経験から今を考えていることがすごいと思つた。私は、平和って仲間と助け合つて信じていくことが大切じゃないかなと思つた。だから、仲間から信じてもらえるように、仲間を信じられるようにしたい。